

モデル	標準（学術）型（例示：地域の農業法人への就職をめざす学生の履修モデル）
想定される進路	地域の企業や団体の社員，行政職員
養成する人材像	学類や学部卒者で，農業・環境および経済関係の専門的研究と地域課題をバランスよく学び，高度な地域創造力を修得して，地域の企業や団体の社員及び行政職員として活躍できる人材を養成する。
授与する学位	修士（学術）＜分野：経済学関係＞

学期	科目区分	科目名	単位数	学期で修得する知識や技能
1年 前期	専攻共通科目	先端地域創造講義	2	1年前期は，専門基礎科目の学修を通じて，地域創造学（経済学関係）の基礎を学ぶ。 修士論文のテーマを明確化し，地域フィールドワークを通じて，地域課題解決の学術的な方法を学ぶ
	専攻共通科目	論文指導Ⅰ	2	
	専攻共通科目	地域フィールドワーク	2	
	専門基礎科目	地域農業環境学特論	2	
	専門基礎科目	北陸地域経済学講義	2	
	専門基礎科目	環境経済特論	2	
1年 後期	専攻共通科目	論文指導Ⅱ	2	1年後期は，専門展開科目の学修を通じて，地域創造学（経済学分野）を専門的・学際的に学ぶ。 論文指導・地域フィールドワークを通じて，論文研究の方法を明確化する。 課題型インターンシップ（短期）を通じて，地域において地域課題解決の方法を学ぶ。
	専攻共通科目	地域フィールドワーク	2	
	専攻共通科目	課題型インターンシップ（短期）	2	
	専門展開科目	地域農業生産技術特論	2	
	専門展開科目	食品機能学特論	2	
	専門展開科目	環境政策特論	2	
2年 前期	専攻共通科目	論文指導Ⅲ	2	2年前期は，課題研究科目の学修を通じて，研究課題を複数のアプローチから検討する。修士論文の作成を本格化する。
	課題研究科目	地域農業生産研究	2	
	他専攻科目（経済学専攻）	生産システム特論 a	2	
2年 後期	専攻共通科目	論文指導Ⅳ	2	2年後期は，農業環境分野の修士論文の作成を通じて，2年間の学修を通じた学術的なアプローチから，主体的に総合的・実践的な地域課題解決力を養う。
計			32	